

ほほえみ

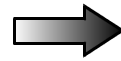
1 学年目標
「結（ゆい）」
～自他を認め助け合う～

仙台市立蒲町中学校
第1学年通信
令和6年5月29日
第6号

SNSの使い方を考える

5月も終盤を迎え、生徒たちは、だいぶ中学校生活に慣れてきたように感じられます。しかし、友達が増えて喜ばしい反面、中にはあまり好ましくない交流の仕方も見受けられます。その一つとして、SNSに関するトラブルが学年内で増えています。生徒たちが作っているグループ LINE やクラス LINE などにおいて、特に目立ちます。

一般的な例ですが、右記のような内容を、大勢が参加している SNS 上でやり取りし、トラブルが起きるケースが少なくありません。互いの顔が見えないため、送り主の意図とは違うニュアンスで受け取られ、後々大きな問題に発展することもあります。



- ・ 友達が嫌がるあだ名や悪口
- ・ 誇張されたうわさ話
- ・ 他人の事情に立ち入る言葉
- ・ 仲間外れ（退会させるなど）
- ・ 不要な画像
- ・ 加工された画像

そこで、先日の道徳の授業で、SNS の使い方について生徒たちに考えさせました。「主人公が SNS 上に友達の悪口を投稿しようとしたら、取り返しのつかないことになることを知り、慌てふためいた。」という内容の題材です。

★★★生徒の記述より★★★

- ・ グループLINEのメリット：全員で情報共有ができる。いろいろな人とコミュニケーションが取れる。
グループLINEのデメリット：文字でしか相手に伝えられない。投稿したことが全員に伝わってしまう。(S.Aさん)
- ・ 相手には文字しか見えないから、すぐに広がって炎上してしまう危険性があることがわかりました。(A.Nさん)
- ・ 友達の悪口を言ったり書いたりするべきではない。ネットにあげてしまうと自分に返ってきたりすることがあるので、友達があげようとしていたら声をかけたい。(A.Sさん)



3組 クロムブックを用いた話し合い

各学級で、次の内容を日々指導しています。お子様が思わぬ事件や事故に巻き込まれることのないよう、御家庭でも是非、お子様の SNS の使用状況を御確認いただければと思います。

- SNS上でのやり取りには、様々なリスクもつきまとうということ。
- 自分の言動が招く結果について、よく考えた上で使わなければならないこと。
- 携帯電話やスマートフォンの使い方についての約束事を、保護者と一緒に確認すること。